

山行NO 山行NO. 1807  
日時 2019. 03. 02 (土) 曇・やや寒  
山域 裏丹沢・加入道山(1418m) 男子=北西尾根(藪なし)、女子=北尾根(藪ややあり)  
コース 長泉7:00-道志の湯発8:54-北西尾根(男子)-1262m(ジャンクション・ピーク)10:45-加入道山11:18-避難小屋11:20~12:31-一般道-登山口14:06-道志の湯14:20~15:30-長泉  
標高差 上り 道志の湯約600m~加入道山1418m=約818m  
下り //

参加者 男子隊=後藤・勝又・水口・合谷 女子隊=加藤、峰田、星=7名

### 【女子隊】

今日も地図読み山行だ。地図は峰田と星に渡し、私はスマホを片手に意気揚々と出発。ところが気合いが入り過ぎてか、男子の魅力に引きずられてか、男子隊の後について行ってしまった。CLから最初の出足から「間違えているぞ！」と叱責を受ける。どんまい！どんまい！

気を取り直して、スマホと地図を照らしあわせ取り付きを確認する。駐車場から更に下り民家のある場所から地図上でもハッキリとわかる北尾根確認できた。随分と急なやせ尾根だ。この尾根に登ってしまえば、後はやせ尾根の連続なので間違いなく頂上まで辿りつくと思った。

下部取り付きは、切り立った壁のような斜面で、上れそうな場所はないか3人で探す。1ヶ所、獣が通ったらしき崩れた場所があったので、其処から四つん這いで這い上がった。足元は崩れやすく滑る。掴んだ草木は抜ける。泥沼のような斜面に悪戦苦闘をしながらも、やっと尾根にあがり一息入れた時はホッとした。ところがドッコイ！其れからも苦戦が続く。



道志の湯駐車場



男子隊

尾根の急登は相変わらず。昨日の雨で土が泥沼化。3歩あがって2歩下がる状態。それに今度は枯れた笹の藪こぎが加わる。

平泳ぎをするように両手を水平に交互に泳がし、更に獣の糞を踏まないように足元にも気をつけながら、でも足元ばかり気をつけていると、枯れた笹の枝が目に入りそうで危ない・・・と注意を払うことに満身創痍。「糞！気をつけて！」以外、誰も言葉が出ない。

ハイキングで会話の出ない山行は初めてだ。気がついてみると、私のシャツを捲りあげた右腕は血だらけ。星の腕のシャツも血がついている。

800m位登ったところから、しきりに犬の鳴き声がある。右に左に、下に聞こえていた鳴き声ですぐ傍で聞こえたかと思うと、目の前を走り抜け「アッ」と思う間に遠くに行ってしまった。

この犬の早さでは人は追いつけない。犬だけが何故山の中を走りまわっているのか不思議だった。でも東の間の安らぎになった。

右手に尾根が1本見える。男子隊の北西尾根だろうか。今頃はどの辺りかなあと思いながら、きつい登りに汗も噴き出した。喘ぎに喘ぐ。喘ぐ！ 「きついよお～！！！」



標高1262m峰・ジャンクシオンピーク

大きな岩が点在

1160mの所でCLから「頂上に着いた。遅いねえ」の一報が入る。3人で、「この尾根の状態では決して遅い登り方ではない・・・」と頭からボンボン湯気を出す。(単に汗の蒸気?)

それから無言で奮闘が続く。頂上に着いたのは既に12時をまわっていた。先着の男子隊は昼食も終えリラックスモード。私たちもやっと腰をおろし、身体を休めた。

#### 女子隊 (追記)

ピークに着いた時はやせ尾根で間違えようもないとわかっているけど、2万5千円にコンパスをあて方向を3人で確認しながら地図読み山行を実施した。

これによって、星はコンパスの必要性を感じ「購入します」と意気込みを見せる。

峰田は「あるけれど持って来なかった」と言って後悔。これだけでも地図読み山行は成功かな?と思った。(加藤記)





キレイな避難小屋

### 【男子隊】

道志の湯を出発後、昨日、スマホにダウンロードした地図を参考に北西尾根の登り口はすぐに判った。私にとって、一般登山道でないところを登る登山は今回が2回目。  
残雪があるかもしれないということで、軽アイゼンとスパッツを準備してきたが、尾根を見る限り、残雪は残っていないようだ。  
やはり地球温暖化で温かくなってきているのか。



物凄い上り

人工林の急な斜面から登り始めたが、足場が枯葉や枯れ枝でふかふかで、足に力が入り難く、登り難い。  
登り口（600m）からずっと1000mまでは人工林の急な斜面の連続で、昨日の大雨の影響もあるのか、足場が滑り易く、手も使いながらの必死の登りが続いた。  
また、月一登山のMさんはかなり足に疲れが来ているようであったが、皆に遅れないように頑張っておられた。



## 加入道山

1000mを超えると自然林となり、勾配もだいぶ緩やかになり、登り易くなってきた。  
このあたりから、気温が低いのか、雪は積もっていないが、昨日降った霰のような白い粉雪がところどころに残っており、冬山の気配を感じることができた。

そこから少し、登ると女子隊との合流予定地点のジャンクションピーク（1262m）に到着。  
女子隊はまだ到着していないようなので、少し休息してから加入道山に向けて出発。  
わりかし緩やかな登りを30分程登り、無事に山頂に到着。  
結構、頂上は寒かったので、すぐに改装（H28年）された綺麗な避難小屋に移動し、男子隊だけで先に昼食を取り始めた。

GTさんはホットビールを3本飲んで、上機嫌。  
私も昨日作った弁当とビールで元気回復。  
やはり、厳しい登りを登った山頂での昼食は美味しい。

男子隊の昼食が終わったところに女子隊が合流。女子隊の昼食終了後、下山開始。  
ただし、登りが女子隊、男子隊とも相当に厳しかったので、下り是一緒に一般道を下ることにした。  
しかし、下り始めて、すぐに急な下りの上に昨日の大雨で道がぬかるんでいて大変な悪路であった。  
私の下り方が不安定なようで、Kさんから下り方の指導を受けるが、これまでの62年間の歩き方を一朝一夕に変えることは出来ないと思った。

この悪路を抜けると、緩やか下りとなり、気温も温かくなり、快適な下山道であった。  
途中で鹿よけの柵があり、そこを通る時はドアを開閉して通るのだが、本当に鹿よけの効果があるのか疑問に思った。

下山後は導志の湯で、ひと風呂浴びて、帰途についた。  
一般道を通らない登山は面白いが、一歩間違えると遭難してしまいそうなので、地図やコンパス、高度計、GPSを使いこなせる能力と体力が必要と思いました。

GTさんのようなベテランの人と一緒に行かないと一人では無理と思いました。 （合谷記）



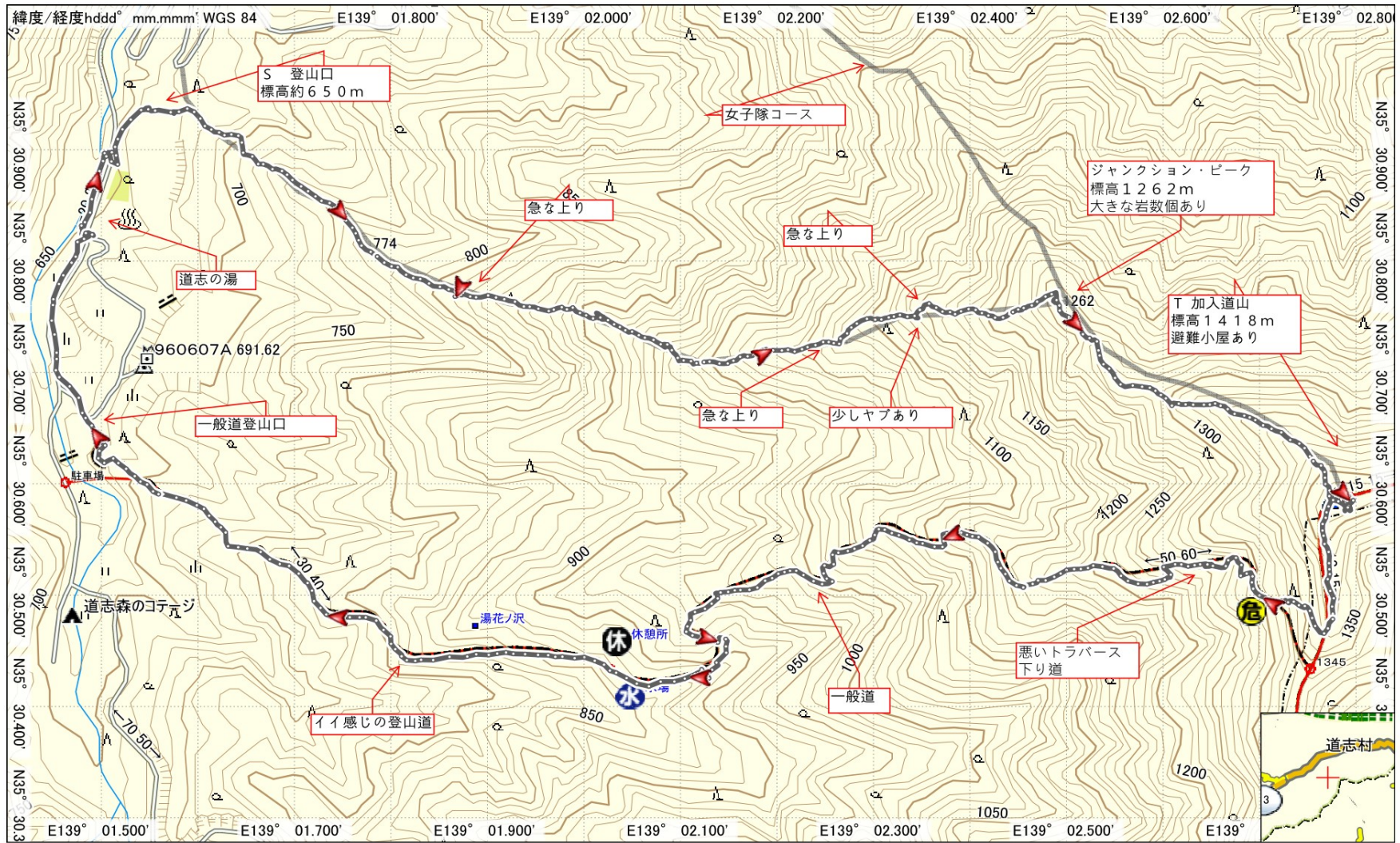


GYさんのシイタケ料理が美味しかった



加入道山頂上（温泉から一般道を上った方に撮ってもらった）





Japan Topo 10M Plus V3  
 CarvenMaple Co., Ltd 2014  
 Garmin Corporation 1995-2014

2019/03/04 5:35:46

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN

MN ↑ FN  
 -6.5°  
 2018/01/01